

募集の概要

防災教育チャレンジプランでは、全国で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートいたします。

そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けて防災教育チャレンジプランアドバイザーが出向くなどして相談などの支援を行います。

応募の中から選ばれたプランは、活動計画について前年度の活動報告会(最終報告会)で発表、さらに1年間実践した結果を、交流フォーラム(中間報告会)と活動報告会(最終報告会)で成果を発表していただきます。※入門枠は発表不要

活動報告会(最終報告会)においては、優秀な実践活動に対して防災教育大賞、防災教育優秀賞、防災教育特別賞を授与いたします。また、皆さんのチャレンジプランの成果はホームページなどで広く公開いたします。

サポート内容	一般枠	<ul style="list-style-type: none"> ●プランの実践にかかる経費の提供/上限 30 万円(査定による) ※活動・予算計画書の提出及び団体名義の口座が必要となります。 ●交流フォーラム(中間報告会)・活動報告会(最終報告会)発表者への交通・宿泊費の支給。(1名分×3回分) ●プランの実現に向けて、実行委員会が認定する防災教育チャレンジプランアドバイザーが助言や現地指導等の支援を行います。
	入門枠	<ul style="list-style-type: none"> ●プランの実践にかかる経費の提供/上限 5 万円(査定による) ※活動・予算計画書の提出及び団体名義の口座が必要となります。 ●プランの実現に向けて、実行委員会が認定する防災教育チャレンジプランアドバイザーが助言や現地指導等の支援を行います。
表彰	一般枠	<ul style="list-style-type: none"> ●活動プロセス及び成果に対して審査を行い、優秀な実践活動に対して、防災教育大賞・防災教育優秀賞・防災教育特別賞を決定し、表彰状と盾を授与いたします。 ●防災教育チャレンジプラン「サポーター」として認定いたします。
	入門枠	<ul style="list-style-type: none"> ●活動プロセス及び成果に対して評価し、優秀な実践活動について表彰いたします。

応募資格

・防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設(保育施設・幼稚園・学校等)、教育委員会、NPO、地域団体(民間事業所、各種団体、行政機関)、個人等
・採用された場合は、都内にて開催予定の実践団体決定会、中間報告会、最終報告会の計3回の会合に出席できること。(一般枠のみ)

応募部門(プランの対象別)

- A. 保育園・幼稚園の部 B. 小学校低学年の部 C. 小学校高学年の部
D. 中学校の部 E. 高等学校の部 F. 大学・一般の部

応募方法

ホームページ (<http://www.bosai-study.net>) より応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局までE-mailもしくは FAX でご提出下さい。

応募締め切り **2011年12月12日**

審査

「防災教育チャレンジプラン実行委員会」の選考により決定します。審査の結果は、事務局よりメールにて応募団体へご連絡します。(応募締め切り後1ヶ月程度)

【審査の観点】

- ・プラン実施により地域防災力の向上に貢献できること
- ・応募された防災教育プランの有効性・新規性
- ・活動の中に新しいチャレンジの要素が含まれているもの

【次年度チャレンジプランの発表】

- ・当年度の活動報告会(最終報告会)の会場にて、次年度チャレンジプランの計画を発表いただきます。

応募先・問い合わせ先

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
E-mail: cpinfo2865@bosai-study.net / FAX: 03-3556-8217

「防災教育チャレンジプランは、(財)河川環境管理財団の河川整備基金の助成を受けています」

Disaster Management Education Challenge Plan 防災教育チャレンジプランの流れ

プラン開発・実施/教材づくり/連携体制づくり

- 1 募集**
応募締め切り **2011年12月12日**
教育・社会福祉施設/教育委員会/NPO/地域団体/個人
- 2 審査**
2011年12月
- 3 決定発表**
2012年2月11日(土)
2011年度防災教育チャレンジプラン活動報告会開催
(会場:有明の丘基幹的広域防災拠点施設)
○2012年度チャレンジプラン発表
○2011年度チャレンジプラン成果発表・表彰
(防災教育大賞、防災教育優秀賞、防災教育特別賞の決定)
○学校や団体等、防災教育関係者の情報交換等
- 4 実践**
2012年4月～2013年3月
2012年度防災教育チャレンジプランの実践
○チャレンジプランへのサポート
プラン進行や教材作成にあたってのアイデア提供・資料提供等
○アドバイザー等の紹介・派遣等
- 5 中間報告**
2012年10月(予定)
2012年度防災教育交流フォーラム開催 (会場:都内にて開催)
○2012年度チャレンジプラン中間報告
○交流会・意見交換会
○学校や団体等、防災教育関係者の情報交換・事例紹介等
- 6 成果報告**
2013年2月(予定)
2012年度防災教育チャレンジプラン活動報告会開催 (会場:都内にて開催)
○2012年度チャレンジプラン成果発表・表彰
(防災教育大賞、優秀賞、特別賞の決定)
○防災教育チャレンジプランサポーターに認定
○2013年度チャレンジプラン発表

2011年度 防災教育チャレンジプラン実行委員会 委員一覧

委員長
林 春男 京都大学防災研究所巨大災害研究センター 教授
市川 啓一 株式会社レスキューナウ危機管理研究所 代表取締役
井上 浩一 防災ネットワークプラン 代表
鍵屋 一 板橋区 福祉部長 兼 危機管理担当部長 (計画担当)
木村 玲歌 兵庫県立大学 環境人間学部 准教授
国崎 信江 株式会社危機管理教育研究所 代表
栗田 暢之 特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事
澤野 次郎 災害救援ボランティア推進委員会 委員長
篠田 貴司 東京都葛飾区立綾瀬中学校 教諭
鈴木 克明 熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻 教授
諏訪 清二 兵庫県立舞子高等学校環境防災科 科長
田村 拓 株式会社CSK 執行役員
中川 和之 株式会社時事通信社 山形支局長
永田 宏和 特定非営利活動法人プラス・アーツ 理事長
平田 直 東京大学地震研究所地震予知研究センター センター長 教授
福和 伸夫 名古屋大学大学院環境学研究科 教授
船木 伸江 神戸学院大学人文学部人文学科 准教授
松尾 知純 防災ゲート・パートナーズ 代表
南島 正重 東京都立両国高等学校・附属中学校 主幹教諭
越智 繁雄 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(地震・火山・大規模水害対策担当)
五島 政一 国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部 総括研究官
仲程 倫由 内閣府政策統括官(防災担当)付企画官(災害予防担当)
南山 力生 文部科学省研究開発局地震・防災研究課防災科学技術推進室 室長
山口 英樹 消防庁国民保護・防災部防災課 課長

(2011年8月31日現在、所属役職別50音順、敬称略)

2012年度 防災教育 チャレンジ プラン募集

Disaster Management Education Challenge Plan



防災教育チャレンジプランとは?

全国の地域や学校で取り組まれつつある防災教育の場の拡大や、質の向上に役立つ共通の資産をつくることを目的に、新しいチャレンジをサポートする取組です。

入門枠
「はじめの一步」

初めて防災教育に取り組み
みなさまを支援します!

応募締め切りは、**2011年12月12日(月)**



2011年度 防災教育交流フォーラム 開催

2011年10月15日(土)・16日(日)

会場:立教大学 池袋キャンパス(東京 豊島区) 入場無料

1日目は2011年度チャレンジプラン実践団体の活動中間発表、2日目は専門家による講演と被災者や支援者となった防災教育に取り組む団体の発表、事例紹介、意見交換を行います。ご来場の際にはホームページ(<http://www.bosai-study.net>)にて事前登録をお願いします。

主催:防災教育チャレンジプラン実行委員会、内閣府(防災担当)、立教大学 社会デザイン研究所、21世紀社会デザイン研究学会
後援:消防庁、文部科学省、国土交通省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本赤十字社、全国都道府県教育委員会連合会、日本PTA全国協議会

www.bosai-study.net

1年の流れ (イメージ)

例(A) ○○小学校
教育対象者：幼児・保育園児・幼稚園児
小学生(低学年・高学年)
教員等の防災・防犯に対する意識付けを行い、児童・生徒たちへ分かりやすく伝えるために、専門家による講演会(防災教育チャレンジプラン実行委員担当)を開催し、学校、園のイベントに合わせて防災・防犯劇などを実施した事例

例(B) ○○防災会
教育対象者：地域住民・防災関係者
保護者・自治体・地域住民に対する「子どもに関する防災意識」向上の呼びかけと教育モデルの提供を行うために、ワークショップ向けテキスト案を作成し、中間報告会において披露し、防災教育チャレンジプラン実行委員会の助言を参考にテキストの最終原稿を作成した事例



※報告会には、報告書(中間/最終)、発表資料(中間/最終)、展示資料[任意]、配布資料[任意]を準備していただきます。

入門枠 (はじめの一步) とは...

3月11日の東日本大震災をきっかけに、防災教育への興味・関心が高まった方、防災教育を実施したくなった方も多くおられると思います。そこで防災教育チャレンジプランでは「これまで防災教育をやったことがなくてよくわからない」「やりたいけれどもいきなり計画案を作って応募することは難しい」という団体に対して、入門枠(はじめの一步)を用意しました。

入門枠(はじめの一步)に採択されると、まずは1年間にわたってチャレンジプランで既に実施された防災教育プログラムを学び・実践しながら、次年度のチャレンジプランに応募するための計画を作成します。計画が採択されると、次年度は一般のチャレンジプラン実践団体として活動を行います。

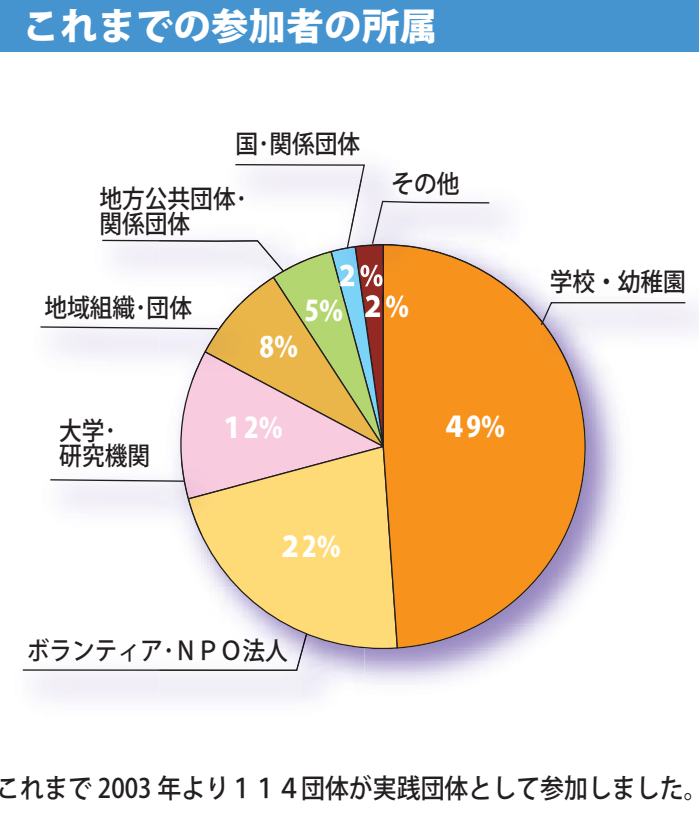
入門枠(はじめの一步)は、一般枠の実践団体応募と比べると、活動費の支援は上限5万円ですが、応募書類などが簡略化されており、やる気があれば「誰でも」「気軽に」応募できるものとなっています。ぜひ、奮ってご応募ください。

過去の受賞団体と活動の様子

防災教育大賞	滋賀県立彦根工業高等学校 高齢者と共に活動 ～モノづくり防災活動～
防災教育特別賞	西大和6自治会連絡会 災害時要援護者避難訓練&子どもサバイバルキャンプ
防災教育優秀賞	なでしこ防災ネット 災害時の水の確保「生活と水」秦野盆地湧水群非常時活用マップ作成
'10	釜石市立釜石東中学校 EAST-レスキュー

これまでの参加者の所属

防災教育大賞	宮城県丸森町丸森中学校 「丸中改援隊 地域防災対策プラン」
防災教育特別賞	滋賀県立彦根工業高等学校都市工学科 「かまどベンチづくり～工高生のものづくりによる地域防災力の向上～」
防災教育優秀賞	和歌山県紀の川市立荒川中学校 「託せ子どもたちに～荒川の安全と未来を～」
'09	特定非営利活動法人日本沼津災害救援ボランティアの会(NVN) 「生命(いのち)にまっすぐ!」(シルバーAEDトレーニング)」



これまで2003年より114団体が実践団体として参加しました。